

令和2年度(2020年度)論作文課題

論文課題

○ 上級職等(消防職を除く)

本市では、めざすまちの姿として、誰もが憧れる「上質な生活都市」を掲げている。あなたが描く上質な生活都市とは何か。また、その実現のためにあなたが本市職員になったときやってみたいことは何か。1,200字以内で述べなさい。

○ 上級消防職

複合災害にはどのようなものが想定されるか。また、それに備えるための対策を1,200字以内で述べなさい。

○ 社会人経験者等(事務、土木、機械、電気)

本市の地域振興のために、今ある本市の企業、事業者の活力をどう生かすか、また、本市の地域資源や地域ブランドをどう活用していくか、あなたの考えを1,200字以内で述べなさい。

○ 社会人経験者等(事務職〔法務〕)

行政を進めるにあたって、情報提供、透明性、スピード感が大切と言われる。法務事務を進めるにあたって、この3つの大切さについて1,200字以内で述べなさい。

作文課題

○ 初級職等・就職氷河期世代対象

本市職員として必要な資質、技量はどのようなものと考えるか。あなたの考えを、理由を含めて800字以内で述べなさい。

○ 看護師・診療放射線技師

地域医療の最前線にあって、心がけること、大切にしたいこととは何か。800字以内で述べなさい。

○ 障がい者対象

市民や同じ職場の人たちと、良好な人間関係を築くために必要なことはどんなことか。800字以内で述べなさい。

令和2年度（2020年度）集団討論課題

※ 集団討論を実施しない職種もあります。詳しくは各試験案内をご覧ください。

※ 課題が複数ある場合は、グループごとに、課題の中の1題を出題

○ 上級職等

- 近年、熊本市内、県内でも地震や豪雨災害などにより、大規模な災害が発生している。市民の生命を守り、市民が安心して生活できるようにするために、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 本市は、国内外の誰もが訪れてみたくなる、住んでみたくなる、住み続けたいと思える「世界に認められる『上質な生活都市』」を「目指す国際都市の姿」と掲げている。本市が国内外から選ばれる都市になるためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 昨今、社会情勢や労働環境の変化に伴い、テレワークという働き方が注目され、「新しい生活様式」として、今後より一層の導入が見込まれる。こうした取組について、導入のメリット・デメリットを整理し、行政としてどのように活用していくか、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 市民と行政が信頼関係を築くため、本市では、市政だより、市ホームページや市公式LINE等の媒体を活用し、行政情報を発信している。今後さらに、市民に市政への関心を持ってもらうためにどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 本市では、小中学校において児童生徒一人ひとりにタブレット端末が使えるよう整備を進めているが、タブレット端末を授業等で使う上でのメリット・デメリットを踏まえ、今後、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 平成30年度の全国における女性の育児休業取得率82.2%に比べ、男性の育児休業取得率は6.16%で、ここ数年上昇傾向にあるものの依然として低水準となっている。今後、取得率を高め男性の育児参加を推進するためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。

○ 社会人経験者等

- 近年、海洋プラスチックごみ問題を含めた環境問題が深刻さを増している。市民一人ひとりが環境問題への責任と役割を自覚し、行動するために、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 政府は、ワークライフバランスの実現に向けて、「長時間労働の是正」や「労働環境の多様化」といった「働き方改革」を推進している。働く意欲のある職員が仕事とプライベートの両方を充実できるような「働き方」とはどのようなものか、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 我が国では、未婚化、晩婚化、出生率の低迷などに伴い、少子化が進行している。少子化が自治体に与える影響を考えるとともに、どのような対策が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。

○ 初級職等

- 本市は、だれもが性別にとらわれずあらゆる分野で多様な視点や能力がいかされる男女共同参画社会の実現を目標としている。その実現のために、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 平成27年に公職選挙法が改正され、投票できる年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられたが、若年層（10歳代～20歳代）の投票率は他の年代と比べて依然低い水準にとどまっている。若年層の投票率を上げていくにはどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。

〈参考〉令和元年7月 第25回参議院議員選挙における投票率（全体 48.80%）

10歳代 32.28%、20歳代 30.96%、30歳代 38.78%、40歳代 45.99%、

50歳代 55.43%、60歳代 63.58%、70歳代以上 56.31%

- 少子高齢化の進展により人口減少社会を迎えており、子育て世代に対する支援がより重要となっている。安心して子育てできる環境を整えるには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。

○ 就職氷河期世代対象

令和2年10月1日時点の全国におけるマイナンバーカードの交付率は20.5%と依然として低水準となっている。今後、交付率を上げていくにはどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。